

【報道用資料】

2017 年度上半期の店頭広告キャンペーンの実施件数は前年比 98.3%へ減少

2017 年度上半期店頭広告キャンペーン実施形態調査

～キャンペーンの形態別比率／メーカー×キャンペーン実施形態ランキング～

■2017 年度上半期の店頭広告キャンペーンの数は、2016 年度上半期と比較し約 98.3%へ減少。

■2017 年度上半期の店頭広告キャンペーン実施件数ランキングは、森永製菓株式会社がトップ。

2017 年 10 月 23 日

株式会社パルディア

店頭広告キャンペーン専門会社の株式会社パルディア（本社：東京都港区、代表取締役：中沢敦、電話番号：03-5532-8425）は 2017 年度上半期（2017 年 4 月 1 日～2017 年 9 月 30 日）店頭広告キャンペーン実施形態調査を発表しました。

店頭広告キャンペーン実施形態調査は、株式会社パルディアが保有する店頭広告キャンペーンデータベースのキャンソ（<http://www.cam-saku.com/>）に保存された 2017 年度上半期集計対象件数（4,458 件）のキャンペーンデータをもとに集計を行った結果です。

《調査方法》

- ①. 全国 200 名のホームパートナー（在宅主婦）を活用し、店頭広告キャンペーンハガキを収集
- ②. 収集したキャンペーンハガキをデータベースに収録
- ③. 収録したデータをもとに集計

※店頭広告キャンペーン実施形態調査での集計対象は、店頭を起点としたプレゼントキャンペーンを対象とし、web 上でのみキャンペーン告知を行い店頭を介さないキャンペーンは「web 限定告知キャンペーン」と位置づけ、本レポートでは集計対象外とする。ただし、Web 上でのみ告知している場合でも「店頭で商品を購入して応募」する形式のキャンペーンの場合、キャンソでは「クローズドキャンペーン」の扱いとし、「web 限定告知キャンペーン」の対象外となり集計対象のキャンペーンとする。

キャンソは 2009 年以降の日本国内の店頭広告キャンペーンデータを約 8 万 3,500 件収録しており、2010 年 7 月からはキャンペーン情報を一部無料で公開しています。

【調査結果】

■2017 年度上半期の店頭広告キャンペーンの数は、2016 年度上半期と比較し 98.3%へ減少。

2017 年度上半期を対象とした調査結果（表 1 参照）ではキャンペーンの総件数は 4,458 件で

あり、2016年度上半期の総件数 4,554 件から 98.3%へ減少しました。

キャンペーン数減少の内訳としては、全国・エリアキャンペーンで前年比 81.6%へ減少、流通タイアップキャンペーンで前年比 101.9%へ微増、流通実施キャンペーンは 82.3%へ減少。

＜キャンペーン数減少の背景＞

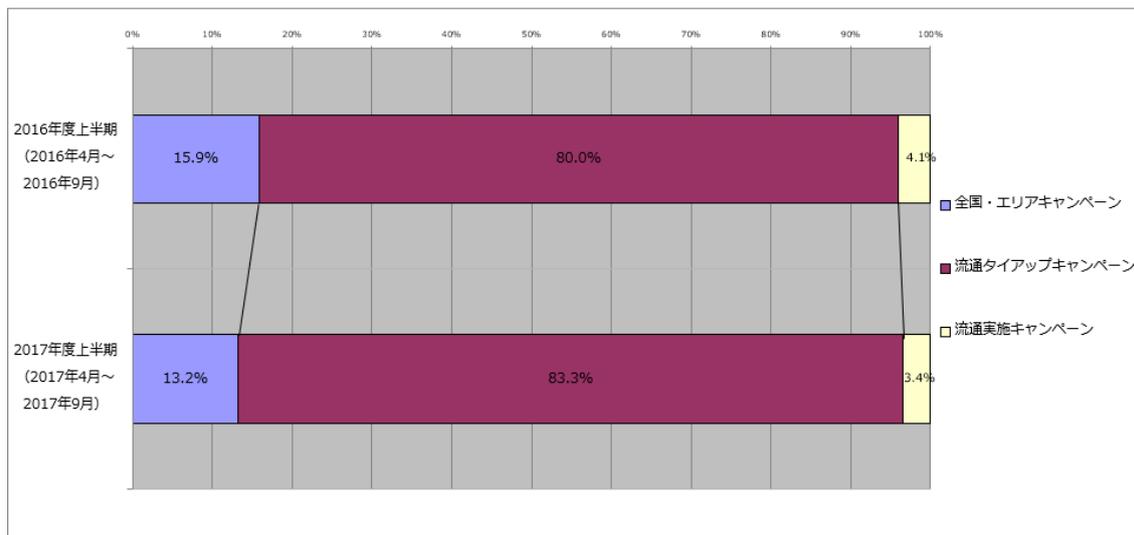
- ・2017年度上半期はオリンピックなどの大きな催事と絡めたキャンペーンが少なかったこと。
- ・各流通でのプライベートブランドブランドのラインナップが増加し、メーカーは売場確保のため、流通とタイアップしたクローズドキャンペーンを強化する必要があり、商品認知向上の為に実施している全国・エリアキャンペーンよりも優先されていること。

表 1 キャンペーンの形態別比率

形態	2016年度上半期 (2016年4月～2016年9月)			2017年度上半期 (2017年4月～2017年9月)			前年比 (件数)
	件数	企画数	% (件数)	件数	企画数	% (件数)	
1 全国・エリアキャンペーン	723	723	15.9%	590	590	13.2%	81.6%
2 流通タイアップキャンペーン	3,645	2,066	80.0%	3,715	2,131	83.3%	101.9%
3 流通実施キャンペーン	186	185	4.1%	153	152	3.4%	82.3%
合計	4,554	2,974	100.0%	4,458	2,873	100.0%	

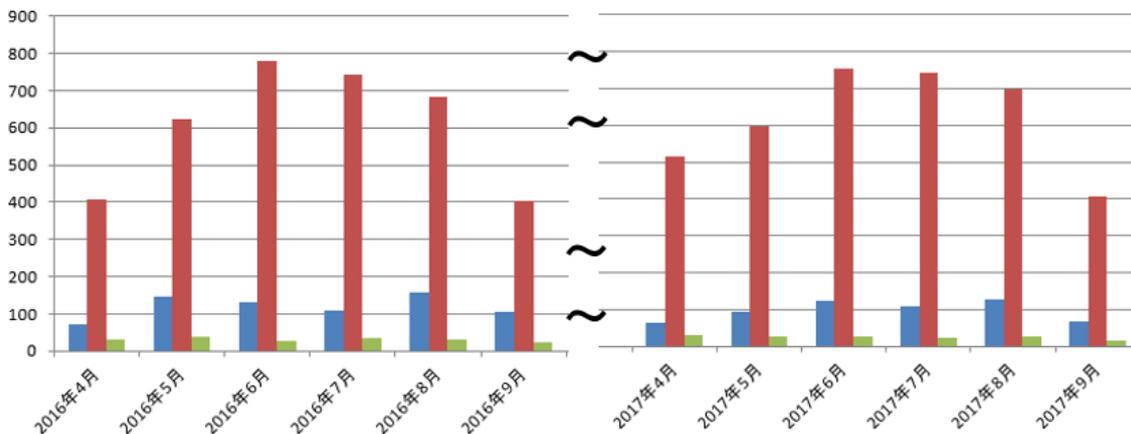
※調査日：2017年10月23日 パルディア調べ

表 2 キャンペーンの形態別比率年度比較グラフ



※調査日：2017年10月23日 パルディア調べ

表3 キャンペーンの形態別月次件数比較グラフ



※調査日：2017年10月23日 パルディア調べ

■2017年度上半期の店頭広告キャンペーン実施件数ランキングは、森永製菓株式会社がトップ

今回の調査で1位となったのは森永製菓株式会社で、キャンペーン実施件数は214件（表4参照）。2位はサントリーフーズ株式会社で198件、3位はサントリー酒類株式会社で190件の結果となりました。

表4 メーカー×キャンペーン実施形態ランキング

2016年度上半期 n=4,554						2017年度上半期 n=4,458					
実施企業名	全国・エリア 件数	流通タイアップ			合計	実施企業名	全国・エリア 件数	流通タイアップ			合計
		件数	うち露出フォーマット	%				件数	うち露出フォーマット	%	
1 森永製菓	27	218	158	72.5%	245	1 森永製菓	20	194	144	74.2%	214
2 キリンビール	21	192	56	29.2%	213	2 サントリーフーズ	10	188	113	60.1%	198
3 サントリーフーズ	5	202	130	64.4%	207	3 サントリー酒類	18	172	71	41.3%	190
4 サントリー酒類	18	156	40	25.6%	174	4 明治 (meiji)	21	145	21	14.5%	166
5 明治 (meiji)	21	131	35	26.7%	152	5 キリンビバレッジ	12	139	33	23.7%	151
6 カゴメ	8	141	85	60.3%	149	6 ロッテ (ロッテ商事)	3	146	73	50.0%	149
7 キリンビバレッジ	15	130	30	23.1%	145	7 キリンビール	18	124	14	11.3%	142
8 アサヒビール	13	123	41	33.3%	136	8 P&G	12	123	65	52.8%	135
9 ロッテ (ロッテ商事)	9	122	52	42.6%	131	9 カゴメ	3	116	64	55.2%	119
10 アサヒ飲料	17	112	53	47.3%	129	10 アサヒ飲料	8	109	49	45.0%	117
11 江崎グリコ	14	105	31	29.5%	119	11 アサヒビール	7	102	24	23.5%	109
12 P&G	10	88	47	53.4%	98	12 不二家	4	96	78	81.3%	100
13 花王	3	89	37	41.6%	92	13 キッコーマン食品	1	88	75	85.2%	89
14 ライオン	6	79	45	57.0%	85	14 味の素	5	83	23	27.7%	85
15 味の素	5	74	2	2.7%	79	15 江崎グリコ	4	81	13	16.0%	88
16 三幸製菓	5	68	50	73.5%	73	16 花王	5	73	19	26.0%	78
17 サッポロビール	6	64	13	20.3%	70	17 ライオン	4	69	26	37.7%	73
18 サントリー	22	44	5	11.4%	66	18 プリマハム	9	63	42	66.7%	72
19 日本ハム	18	45	4	8.9%	63	19 ヤマザキビスケット	1	65	58	89.2%	66
20 不二家	9	52	36	69.2%	61	20 ロッテアイス	2	62	44	71.0%	64
21 キュービー (キュービー)	2	57	20	35.1%	59	21 三幸製菓	3	60	39	65.0%	63
22 プリマハム	7	51	29	56.9%	58	22 エバラ食品工業	2	60	36	60.0%	62
23 メルシャン	1	56	5	8.9%	57	23 サントリー食品インターナショナル	13	45	33	73.3%	57
24 森永乳業	12	44	3	6.8%	56	24 伊藤園	9	48	25	52.1%	58
24 キッコーマン	1	55	21	38.2%	56	24 UCC上島珈琲	6	51	9	17.6%	57
26 サントリービール	9	46	15	32.6%	55	26 森永乳業	10	46	5	10.9%	56
26 サントリー食品インターナショナル	5	50	38	76.0%	55	26 A G F (味の素ゼネラルフーズ)	7	49	27	55.1%	56
28 伊藤園	11	43	20	46.5%	54	28 サントリー	23	30	11	36.7%	53
28 東洋水産	5	49	26	53.1%	54	29 エステー (エステー化学)	3	49	33	67.3%	52
30 エスビー食品	1	52	24	46.2%	53	29 メルシャン	3	49	4	8.2%	52
その他	527	1,551	346	22.3%	2,078	29 ハウス食品	2	50	12	24.0%	52
合計	833	4,289	1,497	34.9%	5,122	その他	499	1,603	357	22.3%	2,102
						合計	747	4,378	1,640	37.5%	5,125

※調査日：2017年10月23日 パルディア調べ

※調査対象日：2016年度上半期（2016年4月1日～2016年9月30日）、2017年度上半期（2017年4月1日～2017年9月30日）

※複数メーカーで協賛・実施しているキャンペーンは、それぞれのメーカーに件数をカウントしています。

本レポートに関するより詳しいセミナーを開催致しますのでご案内させていただきます。

■2017年度上半期店頭キャンペーン動向&スマホプロモーション事例セミナー

東京会場：2017年11月21日（火）14:00～16:30

会場：トスラブ山王健保会館 2F（所在地/東京都港区赤坂 2-5-6）

大阪会場：2017年11月30日（木）14:30～17:00

会場：グランフロント大阪ナレッジキャピタルカンファレンスルーム Room B01F（所在地/大阪府大阪市
北区大深町 3-1 グランフロント大阪 北館タワー B10 階）

講師：第1部 株式会社パルディア 執行役員 部長 大川 祐介

第2部 株式会社パルディア 代表取締役 中沢 敦

申込みフォーム：<http://www.paldia.co.jp/seminar/>

【キャンソフリー (<http://www.cam-saku.com/>) とは】

全国の主要流通で実施されている店頭広告キャンペーンの情報をユーザー登録（無料）していただく事で、一定期間（※）の店頭広告キャンペーンの情報を検索・閲覧できるサービスです。



※ ご利用日の半年前の月からさかのぼって1年分の店頭広告キャンペーン情報を検索・閲覧することができます。（2017年11月にご利用の場合、2016年6月～2017年5月にキャンペーンが終了した店頭広告キャンペーンの情報を検索することができます。）

<キャンソフリーの概要>

①. 豊富な検索機能

メーカー・実施流通チェーン・キャンペーン名称・実施期間・景品名・フリーワードなどから各種キャンペーンを検索することが可能です。

②. 全国の店頭で実施されているキャンペーン情報を網羅

北海道から沖縄まで、全国の弊社と契約登録を行ったホームパートナー（在宅主婦）200名が、日々買い物の中で探した店頭の花ガキを自宅で情報入力するため、キャンペーン情報が豊富に収録されています。

③. キャンペーン情報はリアルタイムで更新

毎月1,000件前後のキャンペーン情報がリアルタイムで更新されます。

<キャンソフリー導入によるメリット>

①. 簡単にご利用可能

メーカー、小売、卸店、販売会社、広告代理店、SP会社など企画担当者の立場に立った、操作が簡単なサービスシステムをご利用いただけます。

②. 無駄な時間を無くし効率的

ターゲットに最適なキャンペーン実績探しが簡単にできるため、ヒントにすることで悩んだり無駄な時間が省け、効率的です。

③. 顧客への充実したサービス提供

広告代理店等の担当者は、顧客への充実したサービスを提供でき、競合他社との差別化を図ることができます。

これらにより広告代理店等の担当者は、時間的に「ゆとり」ができ、他の業務に取り組む時間が生まれます。

【株式会社パルディア 会社概要】

社名：株式会社パルディア

本社：〒105-0004 東京都港区新橋 3-4-5 新橋フロンティアビルディング 5F

URL：http://www.paldia.co.jp/

設立：1996年4月10日 <営業開始 1996年10月1日>

資本金：1,800万円

代表者：代表取締役 中沢敦

従業員数：39名

事業内容：広告企画制作・広告代理業

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パルディア 柴田英治

〒105-0004 東京都港区新橋 3-4-5 新橋フロンティアビルディング 5F

電話番号：03-5532-8425

FAX：03-5532-8426

e-mail：info@paldia.co.jp

《引用》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。

<例>

「店頭広告キャンペーン専門会社のパルディアが実施した調査結果によると・・・」